

2016 年度 9 月卒業式祝辞

梅村学園総長・理事長 梅村 清英

中京大学の 9 月卒業式に当たり、学校法人梅村学園を代表して祝意を述べさせていただきます。皆さん、ご卒業、誠におめでとうございます。お子さまを支えてこられた保護者、ご家族の皆さま方に、心よりお慶び申し上げます。学生を教育、指導してこられた教職員の方々に深く感謝いたします。

本学では、9 月卒業の皆さんに対して、これまで行うことのなかった式典を、今回はこうした形式で開催させていただくこととなりました。頑張り抜き、巣立っていかれる皆さんに心よりの祝意と敬意を表したいとの思いを抱くと同時に、皆さんには母校の存在を再認識していただきたかったからです。

世の中は激しい変化の中であって、様々な出来事が生起しています。学友を送った今春以降だけでも、国内では、熊本地震、北海道・東北の台風被害など災害が相次ぎ、海外では、日本人も多数犠牲となったバングラディシュ・テロ、北朝鮮の核実験や弾道ミサイル発射など憂慮すべき事態が進行しています。

暗い話ばかりではありません。リオデジャネイロ・オリンピックで日本は、史上最多の 41 個のメダル獲得に沸きました。この大会で、本学関係のオリンピック出場選手は延べ 100 人を超えました。次回の東京オリンピックに向けた本学の様々なプロジェクトも始動しています。

激動の時代を読み解くキーワードがグローバリズムであることは、いまさら言うまでもありません。ヒト・モノ・カネの移動は地球規模となり、日々、拡大を続けています。IT 革命の深化がそれを後押ししています。

日本社会は、高齢、少子、人口減少という経験したことのない時代に向かっています。そうした中でも、皆さんには、強く生き抜く力が必要です。変わっていくもの、それとは逆に、どのような中でも守っていくべきものを見分ける確かな目を養ってもらわなければなりません。

本学においては、建学の精神「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」、校訓「真剣味」は不変です。そして、開学 60 周年という記念すべき 2014 年より、長期

計画「NEXT10」に基づき、更なる改革に努めております。

「しなやかに挑み続ける」のが「新生・中京大学」です。「自ら考え、行動することのできるしなやかな知識人を育成」していきます。2023年には、中京商業学校（現・中京大学附属中京高等学校）開校に始まる学園創立100周年を迎えます。学術、スポーツの両分野で、「中部の私大No.1」を目指していきます。

すでに社会人として歩みを始めている方、これからその第一歩を踏み出そうとする方もいる中で、これからの皆さんのそこでの活躍ぶりが、本学の地位確立と同一です。卒業生はすでに12万人を超えており、皆さんはその仲間となります。そこには絆があり、中京アイデンティティーがあります。

風に爽やかさを覚え、天が高く感じられるようになりました。この良き日に巣立つ皆さん、これからも広く、深く学び、多くの友人を作ってください。月日は瞬く間に過ぎていきます。「高い志」を持って、怠ることなく、常に校訓「真剣味」で臨んでください。ご卒業、本当におめでとうございます。